

地域活性化伝道師プロフィール		分野	地域産業・イノベーション・農商工連携	○	農・林・水産業	
			地域医療、福祉・介護、教育		観光・交流	○
			地域コミュニティ・集落再生	○	環境	◎
			地域交通・情報通信	○	まちづくり	◎
ふりがな		あきた だいすけ				
氏名		秋田 大介				
所属	名称	株式会社イマゴト				
	役職	代表取締役				
連絡	住所	(公開)	〒 650-0002			
			兵庫県神戸市中央区北野町 1-1 plug078 内			(職場)
	連絡先	(公開)	E-mail akita[アットマーク]ima-goto.com			
		(公開)	TEL 090-9693-7430		FAX -	
連絡方法		E-Mailでお願いします				
略歴		・2002 年より神戸市職員として、都市計画(中心地の将来ビジョンの策定、総合交通計画の策定、立地適正化計画の策定)、政策企画(市内縦割り解消による施策のパワーアップ、新規事業の創出、海洋産業の創出)、環境・エネルギー(水素スマートシティ構想、脱炭素施策、ブルーカーボン)などに従事 ・2017 年、障がいがあってもアウトドアアクティビティが楽しめるようにと NPO 法人須磨ユニバーサルビーチプロジェクトを設立し副理事長に就き(副業)、このユニバーサルビーチの活動で「地域に飛び出す公務員アワード 2018」(ネット投票1位)、「ひょうごユニバーサル社会づくり賞」、「IAUD 国際ユニバーサルデザイン賞 2019 金賞」などを受賞 ・多くの市民を巻き込んでの将来ビジョンの策定を行いその際に立ち上げた 1000 SMiLE Prpject による地域のキーマンの掘り起こしや人的ネットワークの構築を評価され「地方公務員アワード 2019 受賞」 ・2019 年、アーティストが暮らせるクリエイティブな街を目指して Kobe Mral Art Project を実施。クラウドファンディングなどで 800 万の資金を集め、市庁舎に巨大な壁画を描く ・2020 年、全国の自治体職員の災害時サポートのための一般社団法人アスミーを設立し代表理事に就き(副業)、この活動をもとに TEDxKobe2022 に「共感による繋がり社会課題解決」というタイトルで登壇 ・2023 年 3 月末で 21 年間務めた神戸市を退職し、独立起業。先の世代に希望ある未来を残すため、未来の危機への対応を今やるべき事【イマゴト】として動いていく株式会社イマゴトを設立、代表取締役となり、産官学民の間をコーディネートするインタープレナー(越境人材)として、持続可能な社会の構築のために、民間企業のコンサルタントや行政自治体のアドバイザーを務めたり、新規事業を立ち上げることをミッションとして取り組む (学歴) 大阪大学大学院工学研究科環境工学専攻環境システム領域(工学修士) 京都芸術大学大学院学際デザイン研究領域(芸術修士)				

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。

著作・論文等	・アートと都市と公共空間『壁画と屋外広告物条例および景観条例(大阪、神戸、天王洲)』公益財団法人横浜市芸術文化振興財団 ・論文:土木学会 2000「非集計行動モデルを用いた大学内デポジット・リファンド・システムの調査分析 ・アーバンインフラ・テクノロジー推進会議技術研究発表会 2015「神戸の都心の将来ビジョン及び三宮周辺地区再整備基本構想の策定」		
取組概要	【1000 SMiLE Prject】2015～2017 1000組の市民が主体となってまちをPRし自らがまちのプレイヤーになっていく、地域のファンづくりとプレイヤー発掘を兼ねた広報プロジェクト。この後、まちにプレイヤーが数多く生まれ、多くの市民主導のプロジェクトや官民連携のプロジェクトが実施された。 【ユニバーサルビーチプロジェクト】 障がいのある方やご家族、小さなお子さん、お年寄りなど、みんなが気軽に安心して海を楽しんでもらえるユニバーサルデザインのビーチにしようというSDG's的なプロジェクト。神戸からスタートし今では全国各地(沖縄から北海道まで)でユニバーサルビーチの取組を広めている。 【Kobe Mral Art Project】 アートを活用した地域活性化の取組。アーティストに報酬が出せるイベントを地域住民と一緒に実施し、この後多くのアートイベントが街なかで立ち上がるようになった。		
メッセージ	地域の活性は、地域に住む方や地域を訪れる人の活動の質と量によって決まってくると考えています。 地域を思い行動できる(質の高い)プレイヤーをどれだけ活性化できるか(量)がとても重要です。 「うちの地域にはプレイヤーがいない」と言われることがありますが、それはほとんどの場合事実ではないです。 自分のまちのことが好きな人はたくさんいます。何かやれたらいいなと思う人はたくさんいます。でもその人たちが表に出てこないのが現実です。 主体になるプレイヤーが出てくるためにはそれをサポートできる仲間と体制が必要です。 「何をやったらいいかわからない」のであれば「何をすべきかを考えるワークショップ」、「この地域には何も無い」と考えるのであれば「魅力を発見したり創出するプロジェクト」、 「どうやったらできるかわからない」のであれば「産官学民を繋いだサポート体制づくり」などなどきっかけは様々です。 これまでの経験から企業・行政・大学・住民という4つのセクターが相手へのリスペクトをもって対話を始めると、ほんとにたくさんのプレイヤーが生まれ、色んなことが動き始め、それが連鎖していきます。地域でたくさんのプレイヤーを生んで社会課題を解決しながら活性化していきましょう。		
関連ホームページ	https://ima-goto.com/	活動エリア	全国

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールの送信は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。